

平成31年3月ダイヤ改正の 提案を受ける

中央本部は本日10時より、平成31年3月ダイヤ改正について提案を受けました。主な内容は以下の通りです。(詳細は別紙参照)

《平成31年3月ダイヤ改正の主な内容》

1. コンテナ輸送

- ①九州発着列車の輸送力増強
- ②収益性の低い列車・拠点の見直し
- ③横浜羽沢駅E & S開業(平成31年秋～冬予定)に向けた輸送体系の構築
- ④組成方変更等による新規・既存需要の取り込み
- ⑤新南陽総合鉄道部貨車検修見直しへの対応
- ⑥電磁ブレーキ使用列車拡大100km/h・1200トンのけん引列車の中から一部実施

2. 車扱輸送

- ①中央西線石油列車の見直し
- ②セメント輸送体系変更(富田⇄四日市)

3. 業務の効率化

4. 設備投資

- ①機関車…合計9両(EF210形式:4両、HD300形式:5両)
- ②コンテナ…合計3950個(20D:2650個、20G:1300個)

5. 列車計画規模(一日あたり)

コンテナ178.9千^キ + 車扱10.0千^キ (△0.5) = 合計188.9千^キ (△1.4)

6. ダイヤ改正日 平成31年3月16日(土曜日)

提案を受けるにあたり中央本部は「ダイヤ改正の議論とは別に西日本豪雨災害を教訓とした今後の在り方を議論することが大切である。職場は今も欠員状態であり欠員による弊害はすべて組合員が被っている。要員対策を経営陣として責任をもって議論して欲しい。」ことを主張しました。

これに対し会社は「ダイヤ改正の大きな目玉がない中でどう収支改善していくか勉強してきた。山陽本線の不通の関係があり歩留まりが見えなかった中で議論してきた。要員の確保は行っていくが採用形態が多様化し働く側のニーズの変化がある。今後内容について真摯に議論を行なっていく。」との考え方を明らかにしました。

中央本部は今後申し入れを行い、①欠員に対する要員対策。②輸送障害時を考慮した機関車運用間合いの確保。③駅長と営業所長の兼務の解消。④ロジ会社等グループ会社に対する考え方。⑤長期徐行区間の対応策。⑥女性が従事できる職場と業務の在り方など議論していきます。あわせて各地方本部と連携を図り問題点・課題の解決について取り組みます。